

NLE <i>Yokohama</i>		SETTING & OPERATION MANUAL for "SUPER TARO 5 B" スーパー太郎5B 設定・取付マニュアル	Field Operation Dept.
Mar. 10, 2006			T 000 839 J
AMD NK	Ver. 1.4		Page 1 / 13



非常時直接通話用

**「スーパー太郎5B」
設定・取付マニュアル**

- 本書は“スーパー太郎5B”に関する設定・取付を説明したマニュアルです。

No.	通信部	インターフォン SYS	外部アンテナ 有/無	電源モジュール 有/無	型名
11	PHS タイプ	6VS			DT5B-P-S6-AB
12				×	DT5B-P-S6-AN
13			×		DT5B-P-S6-NB
14				×	DT5B-P-S6-NN
21		6VM			DT5B-P-M6-AB
22				×	DT5B-P-M6-AN
23			×		DT5B-P-M6-NB
24				×	DT5B-P-M6-NN
31		24VS			DT5B-P-S24-AB
32				×	DT5B-P-S24-AN
33			×		DT5B-P-S24-NB
34				×	DT5B-P-S24-NN
41		24VM			DT5B-P-M24-AB
42				×	DT5B-P-M24-AN
43			×		DT5B-P-M24-NB
44				×	DT5B-P-M24-NN
51	MODEM タイプ	6VS	-		DT5B-M-S6-NB
52			×	DT5B-M-S6-NN	
61		6VM	-		DT5B-M-M6-NB
62			×	DT5B-M-M6-NN	
71		24VS	-		DT5B-M-S24-NB
72			×	DT5B-M-S24-NN	
81		24VM	-		DT5B-M-M24-NB
82			×	DT5B-M-M24-NN	

は有 ×は無 -は製品設定がありません。

- 本装置通信部の技術基準適合番号

PAU A04-0693001、001JAA1076

MODEM A05-0028004

備考：本書は次の図書を統合したものです。

“T 000515 J SUPER TARO5B 「6V単局用」取付け説明書 PHS 非常通話装置版 Standard”

“T 000516 J SUPER TARO5B 「6V多局用」取付け説明書 PHS 非常通話装置版 Standard”

“T 000517 J SUPER TARO5B 「24V単/多局用」取付け説明書 PHS 非常通話装置版 Standard”

目 次

1.開封チェック	4ページ
2.取付け・設置作業のまえに	5ページ
3.接続作業	5ページ
(1) カバーを開く	5ページ
(2) エレベーターホンとの接続	6ページ
(3) インターホン電圧の確認	8ページ
(4) 電話回線の接続 (MODEM タイプの場合)	8ページ
(5) 外部アンテナの接続 (PHSタイプ、外部アンテナ有りの場合)	8ページ
(6) ディップスイッチ (SW3) の確認	8ページ
(7) バッテリーの接続	9ページ
(8) ACアダプタの接続	9ページ
(9) スーパー太郎5の再起動 (Reset)	9ページ
(10) 外部 (センター側) からの着信確認	9ページ
(11) カバーを閉じる	9ページ
4.電話番号の設定 とメッセージ登録	10ページ
5. 監視用LEDおよび操作スイッチの説明	11ページ
6.テスト発報	12ページ
(1) インターホン非常コール	12ページ
(2) 音量調整	13ページ
7.運転開始	13ページ
8.その他 (必ずお読み下さい)	13ページ
(1) ID-PB音出力	13ページ
(2) バッテリーの交換	13ページ

1. 開封チェック

「スーパー太郎 5 B」には下記のものが含まれていますので、開封時に欠品等が無いかチェックして下さい。

- | | | | |
|-------|-------------------------|----|---|
| (1) | 設定・取付けマニュアル(T 000 839J) | 1部 | 本書 |
| (2) | 設定表 | 1枚 | |
| (3) | スーパー太郎 5 B 本体 | 1式 | 通信部はPHS/MODEMどちらかを
実装しています。

電源モジュール有りの場合はバッテリーを内蔵しています。 |
| (4) | ACアダプター | 1個 | 電源モジュール有りの場合 |
| (5) | 外部アンテナ | 1式 | 外部アンテナ有りの場合 |
| (6) | 装置取り付け用ネジ | 2個 | |



PHS タイプ



MODEM タイプ

スーパー太郎 5 B本体



ACアダプタ



PHS用 外部アンテナ

2 . 取付け・設置作業のまえに

本装置は、PHSタイプの場合は外部のPHS公衆基地局と無線通信を行う装置PAUが組み込まれております。
MODEMタイプの場合はN T T公衆回線で通信を行う為のモデムが組み込まれています。

設置前に下記事項を確認してください。

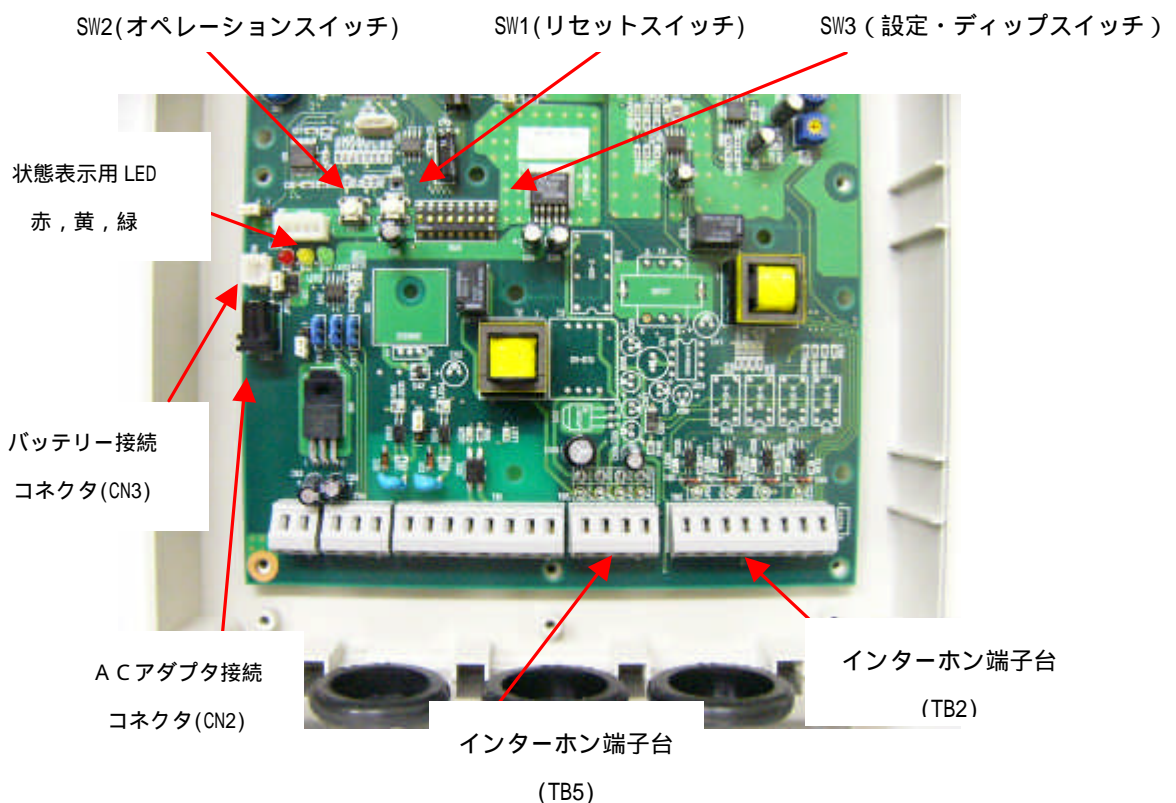
- a) PHSタイプの場合は、
 - 加入契約されたPHS事業者のサービスエリア内であること。
 - 建築・構造物で電波が遮断されていないこと。
 - 特に金属の壁面への取付は避けること。
 - 電波状態のチェックは 5 . 監視用LEDおよびび操作スイッチの説明の章を参考にして下さい。
- b) MODEMタイプの場合は、
 - 開通済みのN T T回線を用意してください。本装置のTELコネクタはRJ-11です。一般の電話モジュラ-ケーブル(6芯)で接続することができます。
- c) 直射日光が長時間あたる場所は避け下さい。
- d) 本体へ常に水がかかる場所は避けて下さい。

本装置は壁取付け用に上部と下部に取り付け穴を用意しています。付属のネジで止めてください。

3 . 接続作業

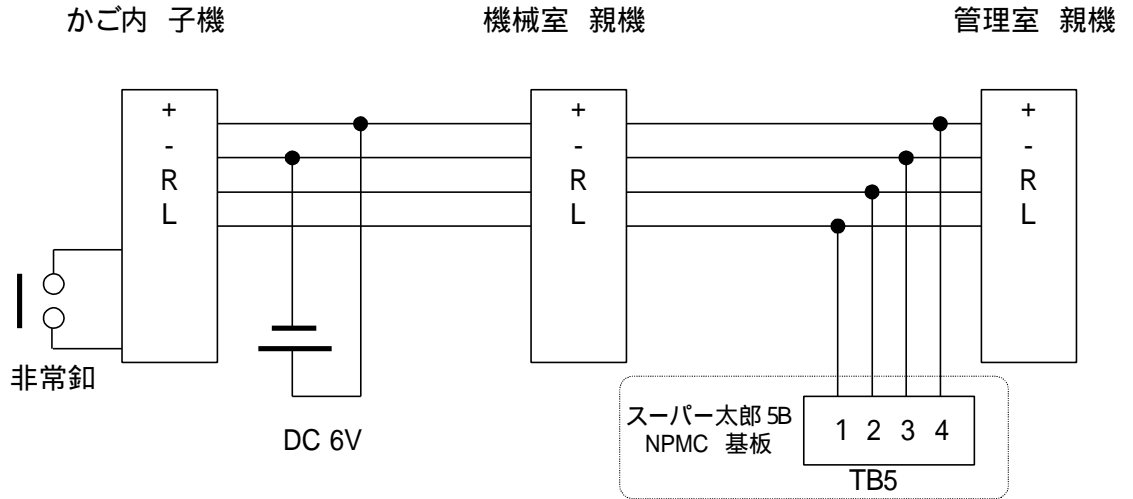
- (1) カバーを開く

結線作業を行うため、スーパー太郎5Bのカバーを開けて下さい。

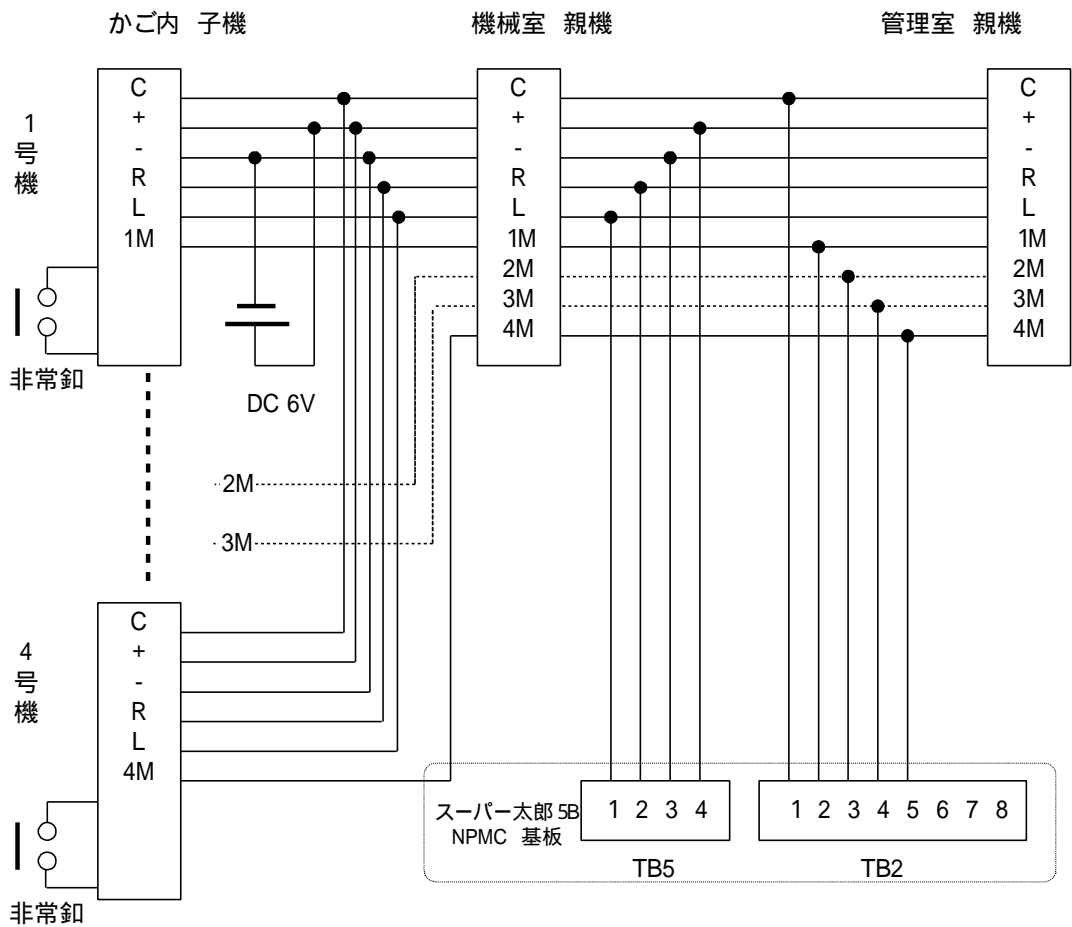


(2) エレベータ・インターホンとの接続

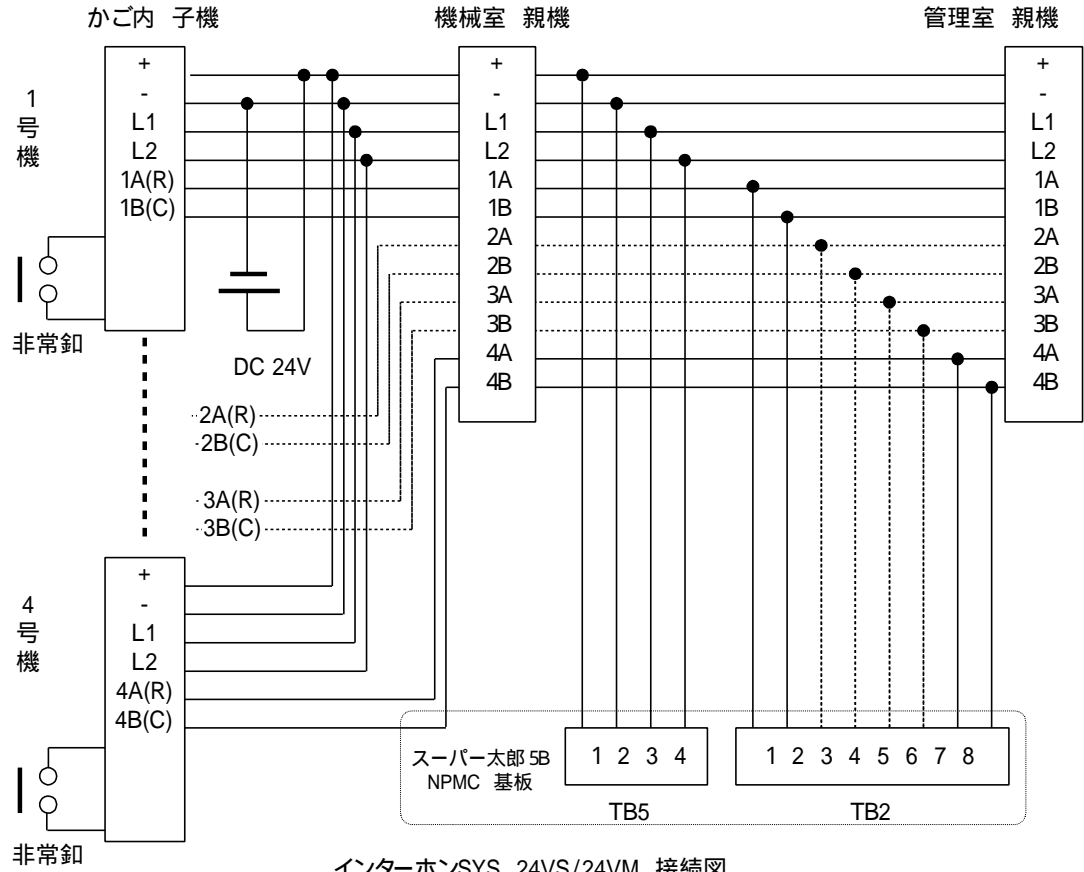
既存のエレベータインターホンの信号端子とスーパー太郎 5B のインターホン端子 (TB5、TB2) を結線します。
 次の接続図とインターホン SYSY 信号名の表を参考にして下さい。NPCM 基板とは本機の主制御盤です。概観は前図によります。



インターホンSYS 6VS 接続図



インターホンSYS 6VM 接続図



インターホンSYS 24VS/24VM 接続図

端子台	ピン No.	インターホン SYS インターホン信号名			
		6 VS の場合	6 VM の場合	24 VS の場合	24 VM の場合
TB5	1	L	L	+ (プラス)	+ (プラス)
	2	R	R	- (マイナス)	- (マイナス)
	3	- (マイナス)	- (マイナス)	L1	L1
	4	+ (プラス)	+ (プラス)	L2	L2
TB2	1		C	1 A	1 A
	2		1 M	1 B	1 B
	3		2 M		2 A
	4		3 M		2 B
	5		4 M		3 A
	6				3 B
	7				4 A
	8				4 B
接続参考図		6 VS接続図	6 VM接続図	24 VS/24VM 接続図	24 VS/24VM 接続図
接続線の大きさと末端処理	単線の場合 0.32mm ~ 0.65mm、 撚線の場合 0.08mm ~ 0.32mm 素線径 0.125mm 以上。TB2,5の末端処理：剥き線長は 10mm				

(3) インターホン電圧の確認

- インターホンSYSが 6 VS/6VM の場合、親機と子機で通話中のときインターホン接続ケーブルの (-) と (+) 間の電源電圧が 5.0V (定格 6V) 以上であることをテスターで確認して下さい。
- インターホンSYSが 2 4 VS/24VM の場合、親機と子機で通話中のときインターホン接続ケーブルの (-) と (+) 間の電源電圧が 20V (定格 24V) 以上であることをテスターで確認して下さい。

(4) 電話回線の接続 (モデムタイプの場合)

一般の電話モジュラーケーブルをMODEM基板のCN13へ接続します。



(5) 外部アンテナの接続 (PHSタイプ 外部アンテナ有りの場合)

スーパー太郎 5B 内の上部に付いている PAU の内部アンテナを外し添付の外部アンテナを接続して下さい。
はずしたアンテナはしばらく保管してください。

(6) ディップスイッチ (SW3) の確認

型式・構成と基板中央部にあるディップスイッチ SW3の位置表が合致していることを確認してください。

機能説明	スイッチ番号	1	2	3	4	5	6	7	8	
		ON	多局	24V	固定	固定	固定	固定	MODEM	固定
		OFF	単局	6V					PAU	
PAU	6 VS	DT5B-P-S6-	x	x	x	x	x	x	x	x
	6 VM	DT5B-P-M6-		x	x	x	x	x	x	x
	2 4 VS	DT5B-P-S24-	x		x	x	x	x	x	x
	2 4 VM	DT5B-P-M24-			x	x	x	x	x	x
MODEM	6 VS	DT5B-M-S6-	x	x	x	x	x	x		x
	6 VM	DT5B-M-M6-		x	x	x	x	x		x
	2 4 VS	DT5B-M-S24-	x		x	x	x	x		x
	2 4 VM	DT5B-M-M24-			x	x	x	x		x

はON、xはOFFをあらわします

ディップスイッチ SW3の位置表



- (7) バッテリーの接続
CN1 に付属のバッテリーを接続して下さい。
- (8) ACアダプターの接続
CN3 に付属のACアダプターを接続して下さい。
AC アダプターを AC100V に接続して下さい。電源が供給され装置は動作を開始します。
- (9) スーパー太郎 5 Bの再起動 (Reset)
リセットスイッチ (SW1) を 1 回押して太郎を再起動して下さい。
LED (赤, 黄, 緑) が 1 秒間隔で点灯し, 約 3 0 秒後に赤が点灯すると正常動作です。
注意: LED (赤) が点灯するまで電源を断にしないでください。
- (10) 外部 (センター側) からの着信確認
外部電話 (携帯電話など) からスーパー太郎 5 B にダイヤルすると, 自動応答します。
- (11) カバーを閉じる
これで接続作業が完了しましたので, カバーを閉じて下さい。

4. 電話番号の設定とメッセージ登録

- 外部電話（携帯電話など）から「スーパー太郎5B」にダイヤルすると、自動応答し通話状態となります。その通話状態から下記の「電話番号の設定とメッセージ登録」を行って下さい。
- リモートで各種設定を行います。
 1. 設定開始 ##0 に続いてパスワードの入力を行います。
パスワードが正しいと、低-高-高(ピーポ・ポ) の3つの連続音が聞こえます。
不正なパスワードの場合は 高-高-低(ポ・ポ・ピー) 3つの連続音が聞こえます。
その場合には再度、##0 から再入力を行います。
 2. データ設定 ##1 ~ 9
発信先電話番号-ID番号(PB音出力)-非常発報待ち時間-電話回線の種別設定-かご内アナウンス録音-現場名アナウンス録音、を行います。
 3. 設定終了 最後に *# を入力し設定終了です。電話を切断します。
- 「電話番号の設定とメッセージ登録」の各種設定のキー操作。

コマンド	説明	出荷時設定
##0 nnnn	パスワード4桁	"9999"
##1 ttt...ttt*#	非常コール1:(1番目の音声接続電話番号 最大16桁)	未設定
##2 ttt...ttt*#	非常コール2:(2番目の音声接続電話番号 最大16桁)	未設定
##3 ttt...ttt *#	モデムコール1:(1番目のデータ接続電話番号) 本装置では無効機能です	設定不要
##4 ttt...ttt *#	モデムコール2:(2番目のデータ接続電話番号) 本装置では無効機能です	設定不要
##5 nnnnnnnnnn*#	ID-PB音出力:(n=電話回線接続後のPB音によるID番号)(最大16桁)	未設定
##6 nnn*#	非常発報待ち時間:(n=設定範囲:1~255秒)	"012" 12秒
##7 nmlJ*#	回線種類の選択:(n=0:トーン, 1:10pps, 2:20pps) PHSでは無効 発信機能の選択:(m=0:インターホンの親機が応答した場合はダイヤルしない, 1:インターホンの親機が応答してもダイヤルする, 2:未使用) 着信モードの選択:(l=0:着信可能, 1:未使用, 2:未使用, 3:着信拒否) 電源制御の設定:(J=0:未使用, 1:工場出荷) 本装置では無効機能です	"0001"
##8	かご内アナウンス録音:センター側の電話機のハンドセットより音声を録音します。##8を入力すると、直ちに約7秒間録音がスタートします。	ただいまセンターへ接続中です。しばらくお待ちください。
##9	現場名アナウンス録音:センター側の電話機のハンドセットより音声を録音します。##9を入力すると、直ちに約12秒間録音がスタートします。	無音



注意! 上記設定を行う際は、全て ##n から始まり、末尾に必ず *# を入力します。

ただしパスワードと音声録音は末尾に *# は必要ありません。押しボタンの操作は手早く行います。ボタン間操作は3秒以内におこないます。もし、3秒以上の間隔が空いた場合は高-高-低(ポ・ポ・ピー)の連続音(NG音)がなりますので再度 コマンド ##n の操作からおこないます。

各設定が正しく登録された場合には設定毎に、低-高-高(ピーポ・ポ)の3つの連続音(OK音)がなります。NGの場合は高-高-低(ポ・ポ・ピー)の連続音(NG音)がなります。

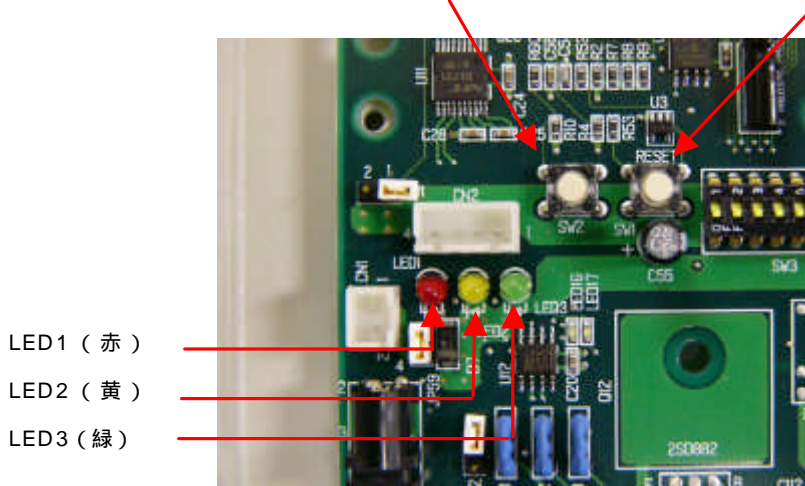
同じ番号を重複して登録しても構いません。##1, ##2の発報連絡先に電話番号を入力して下さい。

5 . 監視用LEDおよびび操作スイッチの説明

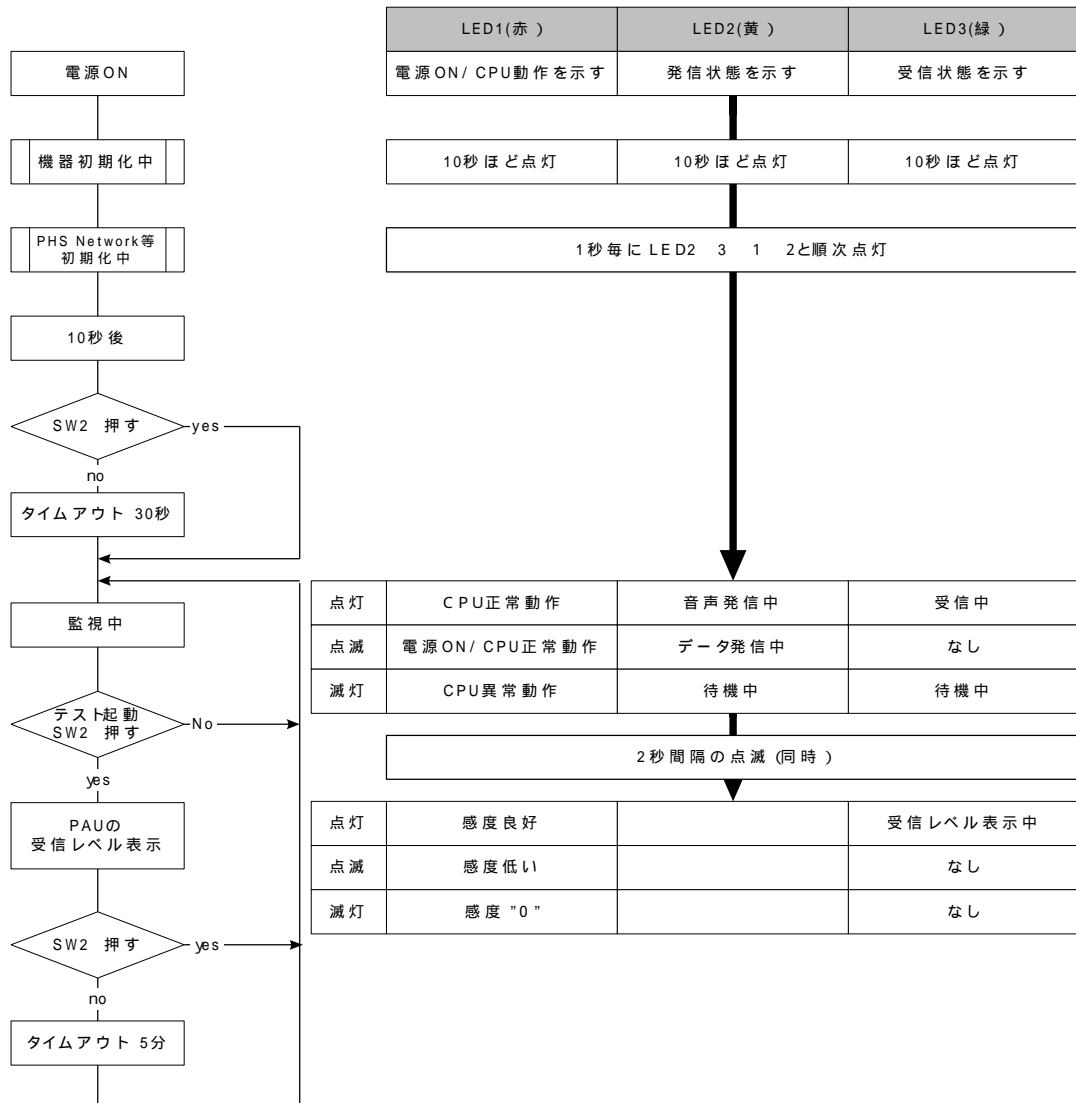
動作フローと監視用LEDの表示状態を説明します。

- 監視中の場合のLEDの点滅状態で発信 / 受信動作がわかります。
- またPHSタイプの場合テスト起動することにより電波環境の確認ができます・

SW2 (オペレーションスイッチ) SW1 (リセットスイッチ)



LED1 (赤)
LED2 (黄)
LED3 (緑)



6. テスト発報



注意！

- PHSを使用する場合、予めPHSの開通の事務手続を行っておく必要があります。開通の手続完了後、PHSの最初の電源投入時には基地局と端末PAUの報知情報の登録を行います。この場合、20秒ほどかかりますので、その間電源を切断することのないよう注意してください。
- 位置・報知情報の登録をしていない場合（スーパー太郎5Bの電源を一度も投入していない場合は）外部の電話から電話をしても「おかけになった電話番号番号は現在使われておりません・・・」のメッセージがでます。
- 開通しているかしていないかを確認する簡単な方法は、そのPHSに外部の電話器（携帯電話など）から電話をかけた時のメッセージで判別できます。

開通していて電波が通じている場合
普通の電話と同じにリングになります。

開通していて電波が通じていない場合
「おかけになった電話は電波が届かない場所にあるか電源が入っていない為、かかりません」のメッセージが聞こえます。

開通していないあるいは基地局と報知情報の登録を行っていない場合
「おかけになった電話番号は現在使われておりません・・・」のメッセージが聞こえます。



(1) インターホン非常コール

かご内インターホン子機の非常釦を3秒間押す。

非常釦が押された事を感じし発報動作します。（非常音発鳴します）

かご内子機よりアナウンス（「かご内アナウンス録音」内容）が再生され、続いて設定された電話番号に電話をかけます。

設定された「非常コール1」の電話番号に電話をかけ、

「応答なし」もしくは「話中」等で相手先につながらない場合は次の「非常コール2」の電話番号へ、という様に以降、接続されるまで3周期（6回）繰り返します。

非常コール1 非常コール2 非常コール1 非常コール2 非常コール1 非常コール2

電話がつながりましたらID-PB音出力後、相互通話が行えます。

インターホンSYSが多局の場合、電話機より子機を選択し通話を切り替える事ができます。

子機選択方法は #（子機番号）を押す事で選択ができます。

子機1の選択	# 1
子機2の選択	# 2
子機3の選択	# 3
子機4の選択	# 4

尚、相互通話を確認出来ましたらセンター側の電話機より

* を押す事により現場名アナウンスが再生されます。

相互通話は4分間可能です。

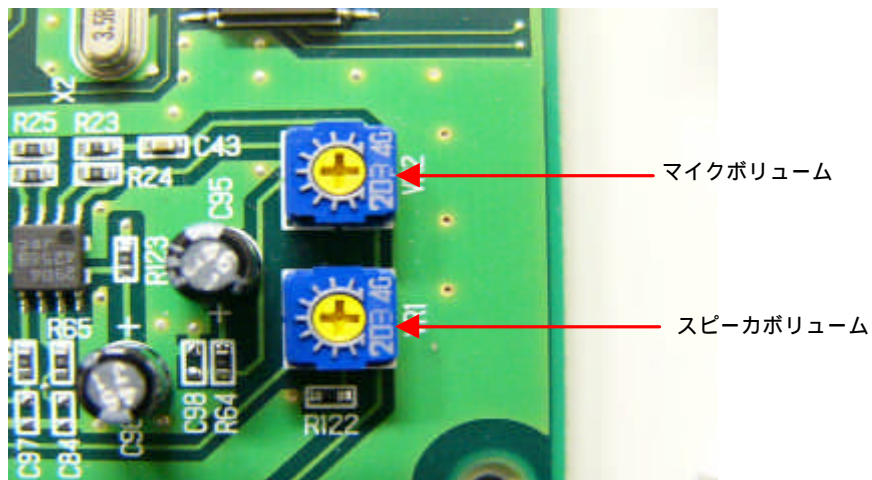
相互通話で3分50秒を経過した時点で警告音が「ピピピピ」4回鳴りその後、回線を自動切断します。



注意！ かご内非常釦の押し下げが3秒未満の場合は、誤操作とみなし電話はかけません。

(2) 音量調整

NPMC基板上的VR1及びVR2でインターホンのスピーカ及びマイクの音量調整が行えます。



右に回すとボリュームが大きくなります。(出荷時はほぼ中間に設定されています。)

現場にて実際に聞きながら調整してください。

7. 運転開始

上記すべての作業が終了しましたら運転開始です。

8. その他(必ずお読み下さい)

(1) ID-PB音出力

固有のID番号を送出します。事前に「# # 5」に登録された番号が回線接続直後に送出されます。これは「スーパー太郎5B」の機器識別をおこなう場合に使用します。

(2) バッテリーの交換

バッテリーは消耗品です2年を目安に交換して下さい。

- 以上 -